ご自由にお持ち帰りください

さくらだより

2024年4月(令和6年)

ESH
さくら病院

SAKURA

日本医療機能評価機構認定

健・康・通・信

Vol. 77

さくら病院の理念

愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕する。

院長
江頭　省吾

新しい年が始まりましたが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

本年は年明け早々から能登半島地震、日航と海上保安庁の航空機事故、小倉商店街の火災と波乱に満ちたスタートでした。しかし、年度が変わり新たな気持ちで地域医療に取り組まねばなりません。本年度は医療・介護・障害福祉の報酬が改定される、いわゆるトリプル改定が実施されます。また、医師の働き方改革も実施され、我が国における今後の医療の在り方変革に大きく踏み出すことになります。この改革に伴い当院でも新制度に対応すべく診療体制を変化させなければなりません。地域の先生方や住民の皆様には、当院でのこれまでの対応とは若干変化する可能性があります。何かお感じになられることがございましたら気軽にお問い合わせください。

本年度の新たな取り組みとして、病院外部に医療や介護に関する相談や社会資源の活用方法など、相談助言に特化した「サロン」を開設する予定です。このサロンには地域のクリニックや企業にご賛同いただき、非営利で運営する方針です。地元住民ばかりでなく民生委員や町内会、地域ボランティアの方も気軽に利用できる場にしたいと考えており、様々な医療資源に「つながる」をテーマとし、地域医療に貢献できるものにする方針です。

この様にさくら病院は地域の病院として、地域に役立つ機能を高めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

JMAT（日本医師会災害派遣医療チーム）活動報告

令和6年2月8日から11日にかけて令和6年1月1日に発生した石川県能登半島地震の災害派遣にJMAT（日本医師会災害派遣医療チーム）として参加しました。メンバーは江頭省吾院長、看護師2名、事務職員1名の4名のチームです。

1日目は7：20小松空港行きの飛行機に乗り8：40に小松空港に着きました。そこから金沢にある石川県庁へ行き、石川県医師会災害対策本部で能登半島の現状やJMATの活動内容について説明を受けました。その後七尾市を経由し穴水総合病院にあるJMAT能登北部調整支部まで車で移動しました。移動は災害前であれば1時間程度の移動ですが、道路に亀裂や沈下が見られたり、通行止めの道路も多発しており道路渋滞も発生していたため3時間ほど要しました。高速道路も一般車両は通行できない区間があり、通行も規制されているところが多くありました。道路の災害のため車移動も大きく揺れたりすることがあり車窓から実際の街や道路を見て災害の大きさを感じました。

穴水総合病院に着き、JMAT能登北部調整支部でJMATチームの医師よりさらに詳細な能登半島の現状について説明を受けました。被害状況は大きく、まだ行方不明者がおり能登北部で発見された遺体は警察とJMATで検案し死亡診断書を作成していること、死因の多くは圧死ということを知りました。

当院のJMATチームは、福岡県の他院のJMATチームや東京の多摩永山病院のJMATチームと共に能登北部調整支部で調整活動することとなりました。一部の町では他県の人の手を借りたくない、関わらないでほしいという思いがあり介入まで時間を要したケースがあったことで復旧が遅れていました。診療所以外の建物がほとんど倒壊しているなかで診療所を再開する環境が整わなかったり、医療スタッフも被災しているため心身の落ち込みが見られ再開の目処が立っていないケースもあることを知りました。そういう状況のなか、北部調整支部では診療再開のニーズを確認し人員の配置や今後予想される状況を判断し調整を行いました。断水が継続している地域は、上下水道の復旧後に避難から住民が戻り、その後の診療所の再開なども検討する予定であり長期的な関わりが必要であると判断しました。活動している穴水総合病院も断水が続いており、給水所で水を受け取りトイレは手動で水を流していました。

2日目は各町に派遣されているJMATチームの医師に現在のニーズの確認を行い、能登北部調整支部の医師と相談しながら翌日の配置を決定したり、DMATやDHEATなど他チームとの連携を図れるように介入をしていきました。またクロノロジーと言われる災害時緊急の状況や活動内容を時系列にそって記録したものを用いてやりとりの内容など情報の整理と記録を行いました。17時半、18時、18時半と医師会や石川県で活動している様々なチームが参加する会議に参加することで、日々変わる現状や問題点などを明確にし災害派遣に携わっているチームが情報を共有しやすくしていることや問題の早期解決に努めていることなどがわかりました。

3日目は輪島市に行き被害の状況を視察しました。輪島朝市の火災現場はまだ焦げた臭いが残っており、一面が焼け野原になっている状況でした。家やお店があったであろう場所に花を手向ける人や手を合わせたりしている住民の方々を見かけることもありました。また、ニュースで放送された根元から倒壊したビルやそのビルに下敷きになった家屋も実際に見てきました。余震がまだある中でも倒壊したがれきの中から遺品を探している様な姿を実際に目の当たりにして私たちも言葉が出ず見つめることしかできませんでした。そこで被害が大きかったことや生活をしていた方を想うと復興には継続的でさまざまな支援が必要であると改めて感じました。

4日目は午前中まで調整支部で作業し17:30の福岡空港行きの飛行機で帰福し活動終了しました。

感想

看護師 吉本:今回JMATとして災害派遣に携わり、実際に被災地でJMATのチーム配置に関わる業務を行いました。現地のニーズを理解することや継続的で絶え間のない支援が必要となることを学びました。また地域の医療を支える支援ではまわりの家屋がほとんど倒壊し自身も被災された先生が診療の再開ができるように診療所の片付けやナースの補充などを行い診療再開に向け支援を行っていること、診療所が再開できることで地域全体が安心できる環境へ近づくことが印象に残りJMATとしての役割を学ぶことができました。このような体験をさせていただきたくさんの学びを得ることができました。今回学んだことを今後に活かせるように振り返りを行っていきます。

看護師 岩崎:今回JMATとして能登北部調整支部で活動することでどの地域がどれだけのニーズを必要としているのか、地域医療がどこまで回復しているのか等の被災地の全体像をつかむことが出来ました。実際に輪島市に視察に行った際、輪島朝市の火災現場や倒壊したビルや町並みをみて胸が痛むのと同時に医療だけでなく復興にはまだかなりの時間を要すると思いました。そのため復興や地域医療が再開出来るようになるためには現場の生の声を聞き、ニーズの確認を行い断続的な息の長い支援をしていくことが大切であることを改めて学びました。自身の経験を現場に共有し、今後の業務に活かしていきたいと思います。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

『つながるサロン』スタートアップ式

当院では『つながるサロン（仮称）』の開設に向け、令和6年春からNTT西日本のみなさまにパートナーとなっていただき、地域の方々のご協力のもと、準備を進めております。このサロンでは、これまで院内で行ってきた相談援助業務を病院施設外の地域で行い、みなさまの医療や介護についてのご相談に対応するだけでなく、関係機関のみなさまの交流の場としても活用いただければと考えています。

この度サロン開設に先立ち、令和6年2月5日 マイライフさくらにて『つながるサロン スタートアップ式』を行いました。当日はお忙しい中、行政・福岡市医師会役員のみなさまをはじめ、地域のみなさま、そしてクリニックの先生方にもご出席いただきました。

また、日本ラグビーフットボール協会からワールドカップ出場選手のサイン入りユニホームを贈呈いただきました。選手みんながボールをつないでゴールを目指すラグビーのように、相談に来られた方の声に耳を傾け、必要な支援につながるお手伝いができるようなサロンを作っていけるよう、引き続き努力していきたいと思います。

第24回 業務改善コンテスト

令和5年10月21日にグランドハイアット福岡で、業務改善コンテストを開催いたしました。

各部署や各委員会において、日々の業務改善や新たな取り組みを行い、業務の質向上に努めております。

今年は内部監査委員会、2内科病棟、ホスピコート長尾、事務課の4チームの発表があり、事務課が優勝しました。

事務課は「業務効率化と残業時間削減」について発表しました。勤怠管理をシステム化し手作業の集計をデジタル化する事で大幅な作業効率化を実現しました。また、紙で配布していた給与明細を電子化し、WEB上で確認できるシステムの導入で印刷、封筒への封入作業を削減することで勤怠管理システムの導入と併せて残業の削減に繋げました。

優勝チームだけでなく、全チームがそれぞれの視点で、効果的な改善を実施し、それをわかりやすく解説した発表となっていました。

医療サービスの基本方針

医療法人社団　江頭会　さくら病院は、「人を大切にすること」を目標として、良質の医療・介護サービスの提供と働きやすい職場づくりを行ってまいります。

そのために職員の人間性、知識、技術の向上に努めます。また、職員それぞれの能力を基盤とした組織づくりを継続的に行います。そのために以下の４点を推進いたします。

1. 患者、患者家族、地域住民の方々の期待に応え、寄り添い、共感する医療・介護サービスを提供します。
2. 他の医療機関・介護施設との連携を行い、さくら病院の持つ医療・介護機能を地域の為に役立て、切れ目のない包括的医療・介護サービスを実践します。
3. 地域包括ケアシステムの中核となる、総合診療能力を持つ地域密着型多機能病院として、地域住民から頼りにされる疾病治療と予防・健康増進活動を推進し、地域社会に貢献します。
4. 法令・規制要求事項などを的確に把握し、遵守すると共に、医療安全と感染対策を推進し医療の質の向上に努めます。

2024年3月25日 改訂　医療法人社団江頭会　さくら病院 理事長　　江頭　啓介

病院の診療指針

1、一期一会を大切に
2、友愛ともにいたわりともに励ます
3、医療は信頼から
4、多忙な中にも対話を忘れずに
5、医療サービスは深い思いやりをもって
6、慢心は敵、安全医療に徹する
7、快適な職場づくりは
　ひとりひとりの心掛けから
8、救急協力は無償の愛をもって
9、向上心をもって医療に取り組む

看護サービスの基本理念

1、人とのふれあいを大切に、安全で思いやりのある看護・介護を行う
2、医師及び多職種と協働し、チーム医療を推進する
3、専門職としての自覚を持ち、知識・技術・人間性の向上に努め、看護・介護の質を高める
4、保健・医療・福祉との連携を図り、地域包括ケアを推進する
5、社会の変化に対応し、柔軟な発想で継続的に組織を変革する

さくら病院の患者権利７カ条

患者様は、「患者中心の医療」の理念のもとに、人間としての尊厳を有しながら医療を受ける権利を持っています。また、医療は、患者様と医療提供者とがお互いの信頼関係に基づき、共同してつくり上げていくものであり、患者様に主体的に参加していただくことが必要です。

地域の皆様の生命と健康を守ることを使命とするさくら病院は、このような考え方に基づき、ここに「患者権利７ケ条」を制定します。

さくら病院は、この「患者権利７ケ条」を守り、患者様の医療に対する主体的な参加を支援していきます。

1、だれでも、どのような病気にかかった場合でも、良質な医療を公平に受ける権利があります。

さくら病院は患者様に対して常に公平であるとともに、適切で安全な医療の提供や、医療の質の向上を目指して知識・技の研鑽に努めていきます。

2、だれもが、一人の人間として、その人格、価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。

さくら病院の職員は、患者様の個々の人格や価値観などを尊重し、両者がお互いに協力し合いながら医療をつくり上げていくよう努めます。

3、病気、検査、治療、見通しなどについて、理解しやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報を受け、治療方法を自分の意思で選ぶ権利があります。

さくら病院の職員は、患者様とのコミュニケーションを大切にし、患者様の理解を助け、納得が得られるように努めていきます。また、治療方法の選択については患者様の意思を尊重いたします。なお、別の医師の意見（セカンドオピニオン）をお聞きになりたいという御希望も尊重いたします。

4、自分の診療記録の開示を求める権利があります。

患者様とさくら病院は診療情報を共有しつつ、共同作業者として治療を進めてまいります。

5、診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされず、乱されない権利があります。

さくら病院は、個人情報の秘密の保持や私生活をみだりにさらされないようにという患者様のプライバシーの権利について、厳正に取り扱ってまいります。

6、納得できる医療を受けるために、医療に関する説明を受けても良く理解できなかったことについて、十分理解できるまで質問する権利があり、同時に治療の指示を守る責務があります。

患者様が、治療等に関する十分な説明や情報提供により納得のいく医療を受けていただくために、そして治療法等を自分の意思で選択していただくためにも、分からないことがあれば何度でもさくら病院職員に質問してくださるようお願いします。

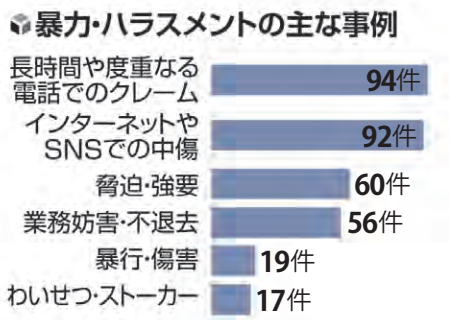
7、すべての患者様が適切な医療を受けられるようにするため、患者様には、他の患者様の治療や病院職員による医療提供に支障を与えないように配慮する責務があります。

病院では、職員が数多くの患者様に様々な医療を提供しています。そのため、患者様は通常の社会生活にはない制約を受けざるを得ないこともあります。このことを十分御理解していただき、適切な医療の提供に御協力くださるようお願いします。

カスタマーハラスメントに対する取り組み

近年、医療現場においても患者等からの理不尽で自己中心的な要求や暴言、暴力による不満をぶつけるといった迷惑行為により、通常診療に影響を及ぼす事例が発生しています。

福岡市医師会で行ったアンケートでは、以下のような結果がでています。



2022年9月 福岡市医師会アンケート結果（読売新聞より）

このようなカスタマーハラスメントは労働者に多大なストレスを与え、放っておくと従業員等の健康不安や精神疾患を招くこともあり、貴重な人材の損失につながるおそれがあります。また、厚生労働省は暴言・暴力や悪質なクレーム等を「顧客からの著しい迷惑行為」とし、令和4年2月に「カスタマーハラスメント対策企業マニュアル」を策定しています。

さくら病院においても未然防止活動として、カスタマーハラスメントの対応マニュアルの作成やポスターの掲示、電話対応では録音機能を付加する取り組みを行っています。

通常の苦情は、業務改善やサービス向上を目的として引き続き相談窓口で受け付けています。患者様やご家族と職員との関係がお互いに心地良いものになるよう患者マナーへのご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

リスクマネジメント委員会

令和5年度入職者一覧

令和5年 4月
幾留 桃子
斉田 星慧
倉知 千佳
内田 明華
立迫 亜弓
清田ひかり
青木 玲音
井口麻衣子
蒲池 幸代
田代 祐二
本川 晴斗
飯田 好美
松村 キミ
立元 貴
吉満 遥

5月
中村真由美
吉郷 宏和

6月
片山 七海

7月
岸 博美
新山 福代
後藤 美紗
吉本 理華
田中 好
佐藤 渉

8月
中野 美香
大穂満里子
松山麻須美
瀬戸麻由美
田中はるな
加藤 勝則

9月
武下 英雄
中園 智美
野崎 佳菜
桂城 優
矢野みぎわ
中野かおり
野口 晃輔

10月
井村 友美
米田 悦子
諸藤まち子
落水 拓士
周田 里枝
那須多美子
三角 崚
真辺 洋子

11月
井手 尉江
牛尾 仁子
山本 彩加
川橋 綾子
山下 理恵
長谷川香織
木本 幸子

12月
永瀬 美咲
寺崎まゆみ
水尾 好江
李 光福
中島 弘子

令和6年 1月
曽根田裕作
市川 憲吾
家入富美代
森田 樹里
長野 佳絵
影山 緋織
山口 辰弥
服部 誠

2月
仲島 純香
木元 智乃
廣瀬 孝之
小川真由美
古家 香
桝永 祐希
冨安 智子
矢野こずえ
宮良 友華

3月
松尾 潔
小笠原輝美
宮崎 理沙
島袋久玲奈
大野 千代
濱田 恵美

令和5年度 さくら病院活動報告

R5年 4月	新入職オリエンテーション（前期）
5月	消防避難訓練
7月	第23回 さくらフォーラム 接遇研修会
9月	令和5年度 第1回 医療安全管理研修会 さくら会（さくらユニット）
10月	新入職オリエンテーション（後期） 緩和ケア研修会 第24回 さくらグループ業務改善コンテスト
11月	複合型多機能高齢者住宅 マイライフさくら開設 令和5年度 第2回 医療安全管理研修会 消防避難訓練
12月	ハラスメント研修会 消費者トラブル研修会
R6年 2月	さくら病院新年会 つながるサロンスタートアップ式 能登半島地震災害医療支援（JMAT）チーム派遣 地域モニター会 いきいき公開セミナー
3月	ハリーコール訓練 令和5年度 第3回 医療安全管理研修会

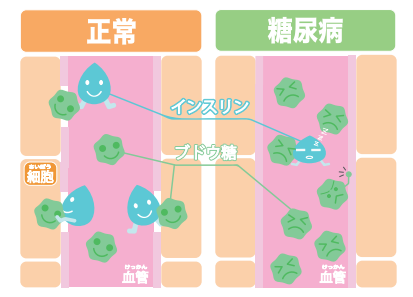
糖尿病

糖尿病内科　武田由美

●糖尿病とは

糖尿病とは、インスリンの作用が十分でないためブドウ糖が有効に使われずに血糖値が普段より高くなっている状態と定義されます。血糖値を下げるホルモンであるインスリンが十分に働かないために、血液中を流れるブドウ糖という糖（血糖）が増えてしまう病気です。インスリンは膵臓から出るホルモンであり、血糖を一定の範囲におさめる働きを担っています。

血糖値が長い間高い状態にあると、将来的に失明や腎不全や足のしびれなど、永久的なダメージを体に及ぼす可能性があります。



●糖尿病の症状

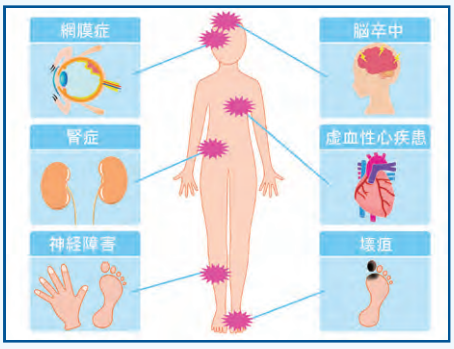
糖尿病になっていても無症状で経過することが多く、気がついていない方がほとんどです。糖尿病では、かなり血糖値が高くなければ症状が現れません。

高血糖の症状は、のどが渇いて水分がほしくなる（口渇）、尿の回数が増える（頻尿）、疲れやすくなる、体重低下などがあります。

●糖尿病の合併症

糖尿病の悪い状態が長く続くと、全身にさまざまな合併症が起こる可能性があります。

1. **糖尿病に特徴的な細小血管（細い血管）**
   合併症：網膜症、腎症、神経障害
2. **糖尿病だけに起こるとは限らないが、糖尿病があるとより進行しやすい大血管（太い血管）**
   合併症：動脈硬化による脳卒中、心筋梗塞や足病変
3. **その他、かかりやすく治りにくい感染症や認知症など**



※さくら病院の糖尿病内科では、糖尿病と診断された方はもちろんですが、健康診断で高血糖や尿糖陽性と指摘された方に糖尿病の説明や適切な食事指導、薬物療法や合併症の管理について日々アナウンスを行っています。心当たりがある方、心配な方は一度相談にいらしてください。

●糖尿病とがん

糖尿病と悪性腫瘍の罹患リスクについては、多くの報告がありますが、糖尿病（主に2型糖尿病）がある方は、がんリスクが20%ほど高いことが報告されています。

日本人では特に大腸がん、肝臓がん、膵臓がんのリスクが高いとされています。海外ではその他に、子宮内膜がん、乳がん、膀胱がんなどのリスク上昇と関係があるといわれています。

●糖尿病がある方のがんの予防、早期発見のために

がんは早期に発見することが重要です。自分の住む地域のがん検診の予定を確認し、検診を受けましょう。さくら病院では検診を受けた後、適切な指導はもちろんですが、必要な場合は専門外来でのフォローアップを行っております。

医療法人社団 江頭会
ESH さくら病院

こんにちは!

地域医療連携室です。

どうぞお気軽にご相談ください。

地域医療連携室(医療介護相談室)では、患者さん・ご家族からの様々なご相談を承っています。

例えば、当院への入院のご相談・退院後の生活に対する不安・介護サービス等社会資源のご紹介・経済的な問題についてなど、一緒に考えさせていただいています。

また、患者さんへ適切な医療が提供できるよう、地域の診療所や病院・施設・在宅サービス事業所等との連携に努めています。

どうぞお気軽にお声かけください。

地域医療連携室
TEL 092-864-1245
FAX 092-864-1213
受 付 平 日 8:30~17:00
土曜日 8:30~12:30
担当者 室 長 中野
係 長 大久保
医療ソーシャルワーカー
橋迫・廣瀬
事 務 梅田

外 来 診 察 表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	第1診察室	早田 哲郎 内科/肝臓内科	小柳 尚子 内科/循環器内科	小田 晋也 内科/循環器内科	早田 哲郎 内科/肝臓内科	江頭 省吾 内科/循環器内科	新患担当医 内科
	第2診察室	小田 晋也 内科/循環器内科	江頭 啓介 総合内科	江頭 芳樹 総合内科	江頭 啓介 総合内科	江頭 啓介 総合内科	江頭 啓介 総合内科
	第3診察室	江頭 省吾 内科/循環器内科	早田 哲郎 内科/肝臓内科	秋満 俊介 内科/循環器内科	泊 真二 リハビリテーション科	河野 徳子 内科/呼吸器内科	大村 一華/東 大樹/大城 彩香 糖尿病内科
	第5診察室	泊 真二 リハビリテーション科	村上 修二 内科/心療内科	永田 貴大 内科/消化器内科	濱田 直樹 呼吸器内科	田邉 桃香 内科/緩和ケア内科	早田 哲郎 内科/肝臓内科
	第6診察室	楠原 浩之 内科/消化器内科					
	健 診	吉田 芽 健診/ドック	吉田 芽 健診/ドック	吉田 芽 健診/ドック	中野 修治 健診/ドック	吉田 芽 健診/ドック	吉田 芽/中野 修治 健診/ドック
午後	第1診察室	永田 貴大 内科/消化器内科	江頭 芳樹 総合内科	立元 貴 総合内科	江上 弥之介 内科/消化器内科	穴井 佑樹 糖尿病内科	
	第2診察室	米良 英和 神経内科	藤井 秀幸 糖尿病内科	米良 英和 神経内科	江頭 啓介 総合内科	小田 晋也 内科/循環器内科	
	第3診察室	秋満 俊介 内科/循環器内科	河野 博之 内科/循環器内科	楠原 浩之 内科/消化器内科	江頭 省吾 内科/循環器内科	秋満 俊介 内科/循環器内科	
	第5診察室	田邉 桃香 内科/緩和ケア内科	小柳 尚子 循環器内科	村上 修二 内科/心療内科	中野 修治 内科/健診/ドック	中園 智美 内科/心療内科	
	第6診察室	河野 徳子 内科/呼吸器内科					
	健 診		吉田 芽 健診/ドック				

病院までの交通アクセス

■**地下鉄七隈線**/福大前下車1番出口より徒歩10分
■**都市高速**/堤ランプより車で3分
■**車**/天神より約30分(本館地下駐車場、本館東側に第2駐車場があります。)
■**バス/西鉄バス〈さくら病院前バス停下車〉の場合**
■天神方面より:協和ビル前のりば片江(営)行……13番
■博多駅方面より:博多バスターミナル片江(営)行……13番
■西鉄大橋駅より:福大病院行……外環
西鉄バス〈西片江一丁目バス停下車〉の場合
■博多駅方面より:博多駅前Cのりば福大病院行……64番
■桧原・片江方面より:……6・12・13・16・64・95・140番
西鉄バス〈福大前バス停下車・南片江バス停下車〉の場合
■天神方面より:協和ビル前のりば片江(営)行……12番
■博多駅方面より:博多バスターミナル片江(営)行……12番
博多駅前Bのりば片江(営)行……16番

駐車場案内

サービス付き高齢者向け住宅
ホスピコート長尾

住宅型有料老人ホーム
アドバンスケア長尾

住宅型有料老人ホーム
マイライフさくら

社会福祉法人 桜花会 ライフケア大手門

社会福祉法人 桜花会 ライフケアしかた

社会福祉法人 桜花会 ライフケア柏原

〒814-0143 福岡市城南区南片江6丁目2-32 TEL092-864-1212 FAX092-865-4570
E-mail:info@sakurahp.or.jp ホームページ:http://www.sakurahp.or.jp/

直通TEL
事務所 092-801-7386
ユニット 092-872-5615
1内科 092-872-5611
2内科 092-872-5612
3内科 092-872-5613

2024年4月(令和6年)